



平成22年度 CSI委託事業(コンテンツ系)で24機関13プロジェクトを支援

●3つの領域:領域1(コンテンツ作成支援)／領域2(先導的プロジェクト支援)／領域3(学術情報流通コミュニティ活動支援)

第1期
平成17年度～平成19年度

●平成17年度:19機関
●平成18年度:57機関、22プロジェクト
●平成19年度:70機関、14プロジェクト

第2期
平成20年度～平成21年度

●平成20年度:68機関、21プロジェクト
●平成21年度:74機関、21プロジェクト

第3期
平成22年度～平成24年度

●学術コンテンツのオープンアクセスを進展し、研究教育の活性化を図る
●新たに「学術情報流通コミュニティ活動支援」を設定

CSI: Cyber Science Infrastructure (最先端学術情報基盤) <http://csi.nii.ac.jp/>

■平成22年度CSI委託事業(コンテンツ系)領域2、領域3 プロジェクト一覧

テーマ	プロジェクト名	代表機関	分担機関	連携機関
領域2: 先導的プロジェクト支援	博士論文発信支援パッケージ開発プロジェクト	東京大学		
	文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発	九州大学	一橋大学	筑波大学 三重大学
	新 XooNips の開発 /Library モジュールの開発と普及	慶應義塾大学		近畿大学 奈良大学 別府大学 愛媛大学
	全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト	島根大学		鳥取大学 岡山大学 広島大学 山口大学 他
	オープンアクセス環境下における同定機能導入のための恒久識別子実証実験	金沢大学		千葉大学 北海道大学
	機関リポジトリアウトプット評価の標準化と高度化	千葉大学		東北大学 筑波大学
	クラウド環境における電子出版・リポジトリ連携実証実験	名古屋大学		一橋大学
	数学ポータル構築	北海道大学		
領域3: 学術情報流通コミュニティ活動支援	機関リポジトリコミュニティ活性化のための情報共有	北海道大学	金沢大学 大阪大学	広島大学 小樽商科大学 千葉大学
	オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト (SCPJ プロジェクト3)	筑波大学		千葉大学 東京工業大学 神戸大学
	機関リポジトリ担当者の人材育成	大阪大学	千葉大学	広島大学 島根大学 浜松医科大学 奈良大学
	近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援	大阪大学	奈良女子大学	龍谷大学 大阪市立大学 神戸外国語大学
	機関リポジトリ地域コミュニティの活性化 (ShaRe2)	広島大学		山形大学 文教大学 信州大学 福井大学 他

学術機関リポジトリは学術コミュニケーションの新しい地平を切り拓く。

- 大学が生み出す知的成果を広く社会と共有することが、大学の社会的責任として強く求められています。
「学術機関リポジトリ (IR)」は、大学の教育・研究・社会貢献という使命を果たすうえで、重要な役割を担っています。
- 国立情報学研究所は、大学等の学術研究機関との連携協力により、次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業の一環として、IRの構築・連携を支援しています。

学術機関リポジトリポータル登録コンテンツ数

100万件以上

※2010年9月現在

日本のリポジトリ公開機関数

世界第2位

※2010年9月現在

日本のリポジトリ公開機関数

5年間で180以上

※2010年9月現在

大学の研究・教育成果発信のさらなる強化に向けて、 学術機関リポジトリの構築連携を支援します。

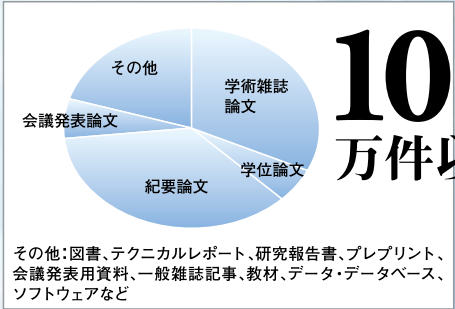
<http://www.nii.ac.jp/irp/>

【学術機関リポジトリの定義】
大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス。
※クリフォード・リンチ (2003)



NII学術機関リポジトリ
構築連携の
3つのサポート

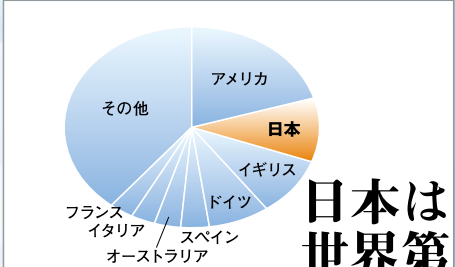
IRポータル登録コンテンツ数



100
万件以上

※NII調べ (2010年9月現在)

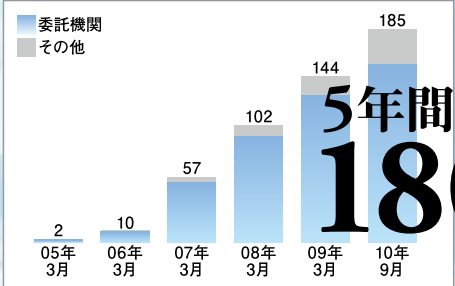
世界のIR数: 1,800以上



日本は
世界第2位

※NII調べ (2010年9月現在)

日本のIR公開機関数



5年間で
180以上

※試験運用を含む
※NII調べ (2010年9月現在)

IRP
学術機関リポジトリ
構築連携支援事業

利用者

横断的検索機能の提供
(学術機関リポジトリポータル)

学術コンテンツ発信

大学からの情報発信

連携

大学

メタデータの提供

A大学
IR

B大学
IR

C大学
IR

学術雑誌論文

学位論文

紀要論文

会議発表論文

図書

テクニカルレポート

研究報告書

プレプリント

その他

研究者

学術機関リポジトリのメリット

【研究者にとって】

成果の効果的発信、研究インパクトの向上、
被引用機会の拡大

【大学にとって】

社会に対する説明責任、大学ブランド力の向上、
国際発信力の強化

【社会にとって】

情報格差の是正、コミュニティの活性化、
産学連携のシーズの発掘

【図書館にとって】

学術コミュニケーションへの寄与、
図書館サービスの高度化

協力

サービス・ツールの提供

学術コンテンツ形成

IR構築支援

IR構築

NII

JAIIRO

JAIIROは日本のIRに蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を横断的に検索できるサービスです。

CiNii
NII論文情報
ナビゲータ

KAKEN
科学研究費補助金
データベース

IR Resolver
研究者
リゾルバー

国内最大級の論文データベースのCiNii、
科研費報告書や研究者のデータベース
からIRへ有機的にリンクします。

IRDBコンテンツ分析
各IRの詳細情報やコンテンツ内容の
統計分析情報を提供しています。

WEKO

NIIが開発した簡単・便利なIR構築用の
モジュールです。NetCommons
(NII開発の次世代情報共有基盤シ
ステム)の上で動作します。

1
コンテンツ構築

- 学協会誌論文の電子化とコンテンツ提供
- IRに対する学会の著作権ポリシーの確認
- 紀要発信支援とIRへのコンテンツ提供
- SPARC Japan^{※1}パートナー誌ヘリポジトリフレンドリーポリシー推奨

2
システム連携

- メタデータフォーマット "junii2^{※2}" の提供
- 各IRのメタデータを OAI-PMH^{※3} でハーベストし集約
- 国内学術機関リポジトリポータル "JAIIRO" の提供

3
コミュニティ形成

- 報告交流会、研修、ワークショップ、シンポジウムの実施

※1 SPARC Japan:
日本の学協会等が刊行する学術雑誌の電子ジャーナルを支援・強化することによって、海外への研究成果発信の一層の普及を推進するNIIの事業です。

※2 junii2:
NIIが策定したIRのメタデータ・フォーマットで、国際標準メタデータ・フォーマットDC (ダブリンコア) に準拠しています。国内IRのデファクト・スタンダードです。

※3 OAI-PMH:
IR (データプロバイダ) のメタデータを電子論文対応検索エンジン (サービスプロバイダ) にハーベスト (自動取得) させるための国際標準プロトコルです。